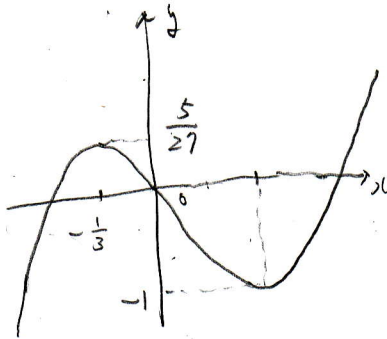


2つの関数 $f(x) = x^2 + a$, $g(x) = x^3 - x$ がある。曲線 $y = f(x)$ と曲線 $y = g(x)$ が2つの共有点をもつときの定数 a の値を $a_1, a_2 (a_1 < a_2)$ とすると, $a_1 = \square$, $a_2 = \square$ である。2つの曲線の共有点の個数は, $a < a_1$ のとき \square 個, $a_1 < a < a_2$ のとき \square 個, $a_2 < a$ のとき \square 個である。

$a = \frac{1}{4}$ のとき, $y = f(x)$ と $y = g(x)$ の共通の接線は \square 本あり, これらの接線の傾きの最大値は \square , 最小値は \square である。 [北里大]

$x^2 + a = x^3 - x$ とし, $x^3 - x^2 - x = a$ より $F(x) = x^3 - x^2 - x$ と $G(x) = a$ の交点と考える。 $3 \times 7 = 21$

$F'(x) = 3x^2 - 2x - 1 = (x-1)(3x+1)$ とわり9"うつの根を求めよ



$x = -\frac{1}{3}, 1$ で極値をとり

x の値は

$$F(-\frac{1}{3}) = \frac{5}{27} \text{ (極大値)}$$

$$F(1) = -1 \text{ (極小値)}$$

このとき $G(x) = a$ との共有点は2つあり

$$a_1 = -1, a_2 = \frac{5}{27}$$

$a < a_1$ のとき 1 個, $a_1 < a < a_2$ のとき 3 個, $a_2 < a$ のとき 1 個

$$f(x) = x^2 + \frac{1}{4}, g(x) = x^3 - x$$

$$f'(x) = 2x, g'(x) = 3x^2 - 1$$

接点と $f(x)$ の切線は $(t, t^2 + \frac{1}{4})$ $g(x)$ の切線は $(s, s^3 - s)$ とおくと

共通の接線は

$$y = 2t(x-t) + t^2 + \frac{1}{4} \rightarrow y = 2tx - t^2 + \frac{1}{4} \dots \textcircled{1}$$

$$y = (3s^2 - 1)(x-s) + s^3 - s \rightarrow y = (3s^2 - 1)x - 2s^3 \dots \textcircled{2}$$

①・②が同じであることから $2t = 3s^2 - 1, -t^2 + \frac{1}{4} = -2s^3$ より $t = \frac{3s^2 - 1}{2}$ とし

s の方程式をつくと $-(\frac{3s^2 - 1}{2})^2 + \frac{1}{4} = -2s^3$ (整理して) $9s^4 - 8s^3 - 6s^2 = 0$

$s^2(9s^2 - 8s - 6) = 0$ となるから $s = 0, \frac{4 \pm \sqrt{70}}{9}$ とおくと。3本の接線がある。このとき

$$3s^2 - 1 = \frac{59 \pm 8\sqrt{70}}{27}, -1 \text{ であるから } \frac{1}{4} \text{ 極大値は } \frac{59 + 8\sqrt{70}}{27} \text{ 極小値は } -1$$